

信州大学医学部附属病院 整形外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年5月18日

「椎弓根スクリューの挿入密度が側弯症矯正手術に与える影響」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5142
研究課題名	椎弓根スクリューの挿入密度が側弯症矯正手術に与える影響
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	大場悠己 診療助教
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年4月1日
研究の意義、目的	特発性側弯症に対する脊椎後方矯正固定術において椎弓根スクリューの挿入密度と矯正率の関係を評価することを目的とした研究です。側弯症の治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2011年4月1日から2019年4月1日の期間に当院で特発性側弯症について手術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、X線画像など
研究方法	過去の診療記録とX線画像より上記の内容を収集し、椎弓根スクリューの挿入密度と側弯症の矯正率の関係性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州大学整形外科 診療助教 大場悠己 電話:0263-37-2659

X線画像を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。